

年頭のご挨拶

あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のご支援ご協力を賜り有り難く、厚く御礼申し上げます。

会員のみなさまに支えられ、一般社団法人日本エステティック協会は、本年創立45周年を迎えます。あらためまして諸先輩方が築き上げた意思を伝承し、今後へ繋げることの使命を担う身として、身を引き締めるとともに深く感謝申し上げます。

協会の綱領では、「業界の健全な発展を追求する」ことが目標として定められています。健全な発展を成し遂げず、業界の成長は考えられません。業界の成長とは利益を出すことができる産業になることも重要ですが、それだけではありません。子供たちがエステティシャンになることを将来の夢に語り、目指す職業としてエステティシャンをあげることも「業界の成長」といえるでしょう。「健全な発展」という言葉のもつ重みはとても大きいものであると思います。

昨年も、この場でご報告申し上げましたが、2017年4月に厚生労働省より、エステティック業の「職業能力評価基準」が定められます。この制度により、これからエステティシャンになろうと考えている方が、「業界と仕事を知り」、働いている方が「必要な能力を知り」、このことでエステティシャンの仕事やキャリアパス等が可視化されることになります。協会としては、多くの企業・サロンで本制度を活用・導入いただくことはもとより、この制度が正しいエステティックを社会へ浸透させるよい機会であり、「エステティック業の健全な発展」の一助となると捉えております。また、この制度により定義された「職業能力」の教育内容への反映に関しても、「認定校での教育」と「現場で活躍される方々への継続教育」の両面で進めていきたいと考えております。

協会の理念をあらためて心に刻み、協会会員のみなさま、また業界の「健全な発展」に貢献できるよう事業の推進に臨んで参ります。

本年もよろしくお願い致します。

一般社団法人 日本エステティック協会
理事長 久米 健市